

残念ながらここでももっぱら使われる素材は塗膜塗装された木材、木質素材、発泡材、合成素材、合成繊維なので上記の効果は望み薄であり、室内環境は加えて静電気の帯電と、有害物質の揮発の負荷をうけるリスクがある。代替品として「エコ・布張り家具」は主に自然素材からつくられたものがある。杣とクッションはたいてい木材もしくはラタン編みからなり、表面材は例えばワラ、ココヤシ繊維、ジュート、羊毛、亜麻、カポック、馬毛、天然ラテックスからなり、カバーは無処理のコットン、亜麻（リンネル）、麻、あるいは有害な合成保存料や顔料や重金属を含まない植物由来の材料でなめされた皮革からなる。取り外し可能なカバー、交換可能な部位と堅牢な加工は、長い寿命を願ったことであり、修理も問題なく、つまりエコ収支的にも望ましい。



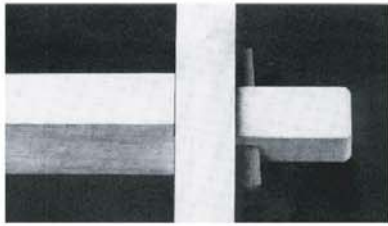
図19 ソファ「ティータイム」

未完成状態：この自然のソファは100%リサイクル可能な素材からなる。下部は無垢材《ブナ、トウヒ、シラカバ》からなり、層として接着されたもの。ソファベッドの場合ベッドの箱杣のすのこは、シラカバ材で仕上げられた。座面（表面仕上げ）は素材を吟味した天然ラテックスとココヤシマットからなる。写真には上張り材がまだついていないが、厚い羊毛フェルトが例えば用いられ、カバーにコットン、亜麻、麻が用いられる。

図20 ソファ「レフュジオ」

ソファの外見は無処理のポプラの合板。目に見えるソファの脚はオイルをかけたブナ材。布張り表面はココヤシ繊維からなり、羊毛フリースと100%の天然ラテックスからなる。クッションは羊毛充填。表面張りとは外見はピュアな羊毛もしくは羊毛・アルパカ・麻の混合織でカバーされている。

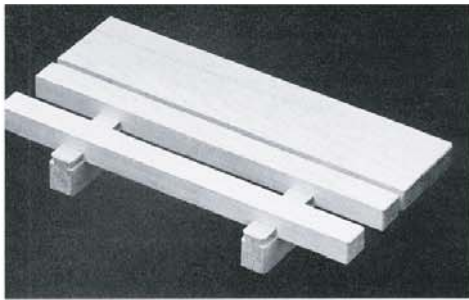




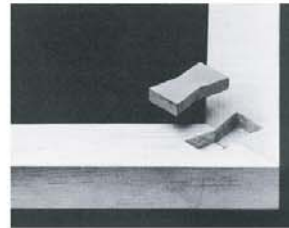
貫とクサビ



蟻組



吸付棧



蝶結び

図 2 2
無垢材の接着剤を使わない
接合方法のいろいろ



図 2 3
トリネコ材を用いた
椅子とテーブル
組立て前と後
ハンツ・シュタインマイヤー



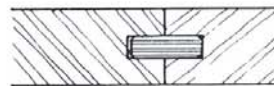
しゃくり接続



目透かし本サネ接続



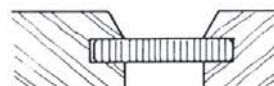
面取りしゃくり接続



雇いサネ接続



本サネ接続



ベニヤを使用した雇いサネ、
目透かし接続



面取り本サネ接続



図 2 4 接着剤を用いない部材接合のいろいろ

事例としてここでは中規模の家具製造メーカー「グリューネ・エルデ(緑の大地)」の仕入れに対するエコ指針を表示しよう。それは納入業者に対する取引条件においても受け入れられている。

エコロジカルな目標は達成される。もしも：

- ・ 使用された原料が自然成長資源か、少なくとも何世代にもわたって自然原料として十分に供給可能である場合。
- ・ 素材が長寿命であり、製造形式が流行に依存していないこと、商品がそれゆえ長期間にわたって使用可能である場合、
- ・ 原料と商品の輸送コストが、製造者から顧客まで、その移動距離、騒音負荷、エネルギー導入、有害物質汚染に関してできるだけ少ない場合。
- ・ 商品がその長い利用期間を終えて、リサイクルされるか、自然の循環に戻されるか（コンポストによって）。
- ・ 商品の製造プロセスの間、技術的にエネルギーを要しないこと、騒音を発生しないこと、できるだけ健康負荷をかけないこともしくは、エコロジカルに問題な汚染が発生しないこと、合成系の補助材を用いない場合。
- ・ 原料と商品の製造において、遺伝子組み換え物質の使用、放射能汚染、動物実験及び動物虐待を引き起こすことを回避する場合
- ・ 原料と製造プロセスが厳密なエコロジカルな指針に対応している場合
- ・ このエコ指針の遵守を、技術の水準に従って確認できる場合
- ・ 商品の製造を、国連の人権憲章の意味において人間の尊厳を尊重した労働条件のもとで実行できる場合
- ・ 高品質によって顧客のクレームを最小限に低減できる場合。

4 総括

バウビオロギー的に家具もしくは内部の調度品に関して、以下の要請があげられる。

1. インテリアはその全体的効果において、その美的全体効果に関して、単一的でもカオスであってもならない（総合芸術作品）。
2. それ自身ことばを発信するような個性的家具は、室内にカオスが引き起こされるがゆえに、出来れば少なく。推奨されるのはそれゆえ、例えば組み立てられた壁面収納もしくは倉庫。
3. 職人的に、そして人間に相応しく、快適な労働条件のもとで、創造的な精神においてつくられること。
4. 個性的、一回性、オリジナル、調和的、美的、時間を越えるもの（流行に流されない）
5. 生み出されるものは、製造者とユーザーとの関係において生まれること。顧客はそれゆえ職人を個人的に知り、もしくは家具は自助努力によってつくられるべき。
6. 素材にかなった加工（素材の特性と外見に関して）
7. 耐久性、質を模索、安定性（使い捨て家具ではなく）
8. 日常用品（食器、スプーン、フォーク、ドアノブなど）のものも、上記の指摘を踏まえること。
9. 子どもに動かせる家具を与え、創造的な可能性を引き出すために、自分の部屋のしつらえをその子に委ねること。

10. 自然の、もしくは自然のままの無臭のもしくは良い香りのする素材の使用。有害物質の放散なきこと。（バインダー、接着剤、表面処理剤、家具の目に見えない部分においても）。
例えば
 - ・無処理のもしくはポーラスな状態が維持される表面木材、自然のままのアシ、ラタン、竹など
 - ・わら、ココヤシ繊維、ウール、カポック、麻、ヤギ、ジュート、天然ラテックスなどからなる布張り家具もしくはマット
 - ・無処理のコットン、麻、亜麻、植物顔料で染めた革など、上張りのシートは外せること（洗濯可能もしくは交換）
 - ・サイザル麻、ココヤシ、麻、ウールなどのジュータン
11. 健康な室内環境（吸放湿性のある素材と表面など）に貢献すること。
12. 自然の放射条件に影響を与えないこと（直流／交流の電場・磁場、電磁波、放射能、地質学的障害など）
13. 理想的なエコ収支（原材料、運送、製造、廃棄など）
14. 自然成長資源もしくは充分供給可能な原材料を使用する。
15. 遺伝子変異物質の否定
16. 理想的な生理学的、人間工学的特性（身体にあわせた、高さ調節可能、ダイナミックなすわり、傾く机の天板、マットやスプリングのシステムなど）
17. 家庭内事故の回避：丸みのある角面、突き出た構造部位の回避、引違い扉の家具、転倒しないこと、柔らかく・弾力性のある素材、医薬品／家事用品など子どもが触れないようにする仕掛け。
18. 火災時における有毒ガスの発生の回避